

衛生用品不足 予防に細心

全国的な新型コロナウイルスの感染拡大で、介護現場でも感染者が相次いでいる。重症化しやすい高齢者に感染させないため、介護事業者は神経をこらさせるが、そのために必須のマスクや消毒用アルコールの不足は続いている。もともと人手が不足している現場には、小中学校などの臨時休校のしわ寄せも出てきている。(桑文野)

3月9日午後、東京都豊島区にある訪問介護事業所「のヘルパー」の高齢者宅を訪問するの同行した。担当で介護福祉士でもある「ん(52)」は出発前、マスクを着け、アルコールで手指を消毒する。事業所にあるマスクは残り約700枚で、計42人のヘルパーがおり、あと数週間ですなくなる。「ん」は「みんなできき集めていくけど、確保できるか心配」と話す。記者も持参したマスクを着け、手指を念入りに消毒した。

訪問したのは、83歳の妻と暮らす85歳の男性宅。男性は5年前に脳梗塞になり、左半身にマヒがある。週3回の訪問介護で、入浴の介助や清掃のサービスなどを利用している。「ん」は玄関先でインターホンを押してから、再びアルコールで手指を

新型コロナ 訪問介護同行ルポ

「マスク在庫なし」事業所2割

消毒した。インフルエンザ予防で普段から消毒には気を付けていたが、今年は特にこまめな手洗いや消毒を徹底している。家に入ると、夫婦が朝測った体温を聞き取り、問題がないことを確認。男性の手指を丁寧に洗ったり、家の中の移動を介助したりした。男性は「訪問介護が、もし止まってしまうたら困る」、妻は「感染したら怖いので、人混みは避けている。一人では入浴の介助も大変なので、訪問介護は助かる」と話した。マスクなどは、訪問介護で安

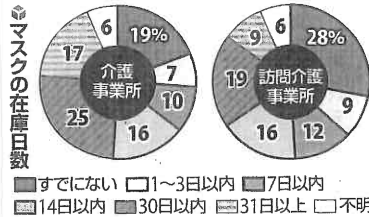
全にサービスを提供するための必需品だ。日本介護クラフトユニオンが6日に公表した調査結果では、介護事業所1437か所のうち19%が「マスクの在庫がない」と答えた。訪問介護に限ると、43.8%事業所のうち28%が「在庫なし」だった。

「ん」は、「本当は訪問先ごとにマスクを替えたいが、そもそも衛生用品が全般的に足りない。利用者も熱がある時など、ヘルパーをどう守ればよいのかも悩みながら取り組んでいる」と語った。

臨時休校余波 人練り厳しく

訪問介護事業所を運営する「(東京都大田区)で

※訪問介護事業所(右)は、介護事業所左の内数。小規模以下四捨五入のため、合計が100%にならない



デイサービス 余儀なく休業

集団感染、利用減り経営悪化

在宅の高齢者が利用するデイサービスなどの通所型事業所では、休業を余儀なくされるケースが目立ってきた。

名古屋市では、2か所のデイサービス事業所で集団感染が発生し、市は6日に市内の2区にある126の事業所に2週間の休業を要請した。現場には、地域外の他の事業所を探すなどの混乱が広がっている。

厚生労働省は、通所型の事業所が休業した場合、職員が利用者宅を訪問してサービスを提供できるとする通知を出している。対応できない場合は、ほかの事業所を利用するか、訪問介護を受けることを想定している。

ただし、利用者の中には長時間の見守りが必要な人もおり、名古屋市のように広域で休業となると、対応しきれぬのは不

育に預けたり、子どもだけで留守番させたりして乗り切っているのが実情。

「職員にも、子どもにもストレスがかかっている。時差出勤などで何とか持ちこたえている。訪問介護の依頼も増えており、臨時休校によってさらに厳しい状況に追い込まれている」と胸の内を明かした。

透明だ。

感染予防で、デイサービスを控える利用者も出ており、小規模な事業所の経営状況を圧迫している。北海道のあるデイサービス事業所では、1日平均約20人が利用していたが、道が「緊急事態宣言」を発してから1日4~6人に減った。運営会社の担当者は「月の売り上げが4割減になり、この状態が数か月続けば大きな損失になる」と危機感をあらわにする。

一般社団法人「全国介護事業者連盟」(東京)によると、同様の事態は全国各地で起きているという。「休業要請や利用控えで経営が困難になる事業所は、今後とも増える可能性がある。国は、サービスの提供が途切れないように対策を準備してほしい」と要望している。